

## 令和6年 アユの遡上状況について（解禁前情報）

6月1日に多くの県内河川でアユ釣りが解禁となります。茨城県水産試験場内水面支場では、県内河川のうち久慈川堅磐堰（河口から約8 km）と那珂川千代橋（河口から約30 km）を調査定点とし、地元漁業協同組合の協力を得て、2月からアユの遡上調査を実施しました。この結果を以下のとおりまとめましたので、解禁前情報としてお知らせします。

### 1 アユの遡上状況

#### （1）遡上初確認日について

調査定点での遡上初確認日は、久慈川、那珂川ともに3月19日であり、久慈川では例年より遅め、那珂川では概ね例年並みの遡上となりました。（表）

表 茨城県水産試験場内水面支場の調査による遡上初確認日と平均全長

年	久慈川（堅磐堰）		那珂川（千代橋）	
	月日	平均全長（mm）	月日	平均全長（mm）
令和6年	3月19日	74.1	3月19日	72.1
令和5年	2月15日	81.7	3月16日	95.4
令和4年	2月24日	70.7	3月15日	79.0
令和3年	3月17日	78.7	3月17日	82.4
令和2年	3月3日	69.0	3月13日	80.6
平成31年	3月5日	71.1	3月19日	86.1
平成30年	3月14日	85.0	3月20日	83.5
平成29年	3月21日	74.9	3月13日	84.7
平成28年	2月23日	86.2	3月23日	81.1
平成27年	2月25日	70.2	3月31日	77.4
平成26年	3月25日	89.4	4月2日	87.0



図1 今年度の調査で初採捕された遡上アユ

(2) 遡上アユの採捕尾数の推移 (投網 10 投あたりに換算した採捕尾数の推移)

久慈川： 令和 6 年は、3 月下旬から 4 月中旬までは、10 年平均値 (平成 25 年～令和 4 年) と概ね同様の水準で推移しました。5 月は、降雨による増水で欠測 (5 月 2 週、3 週) があったことから、明確な傾向は確認できないものの、平均値を下回る水準で推移したものと考えられました (図 2)。このことから、全体として今年の久慈川の遡上量は、平年を大きく上回った昨年とは異なり、平年よりも下回ったものと考えられます。

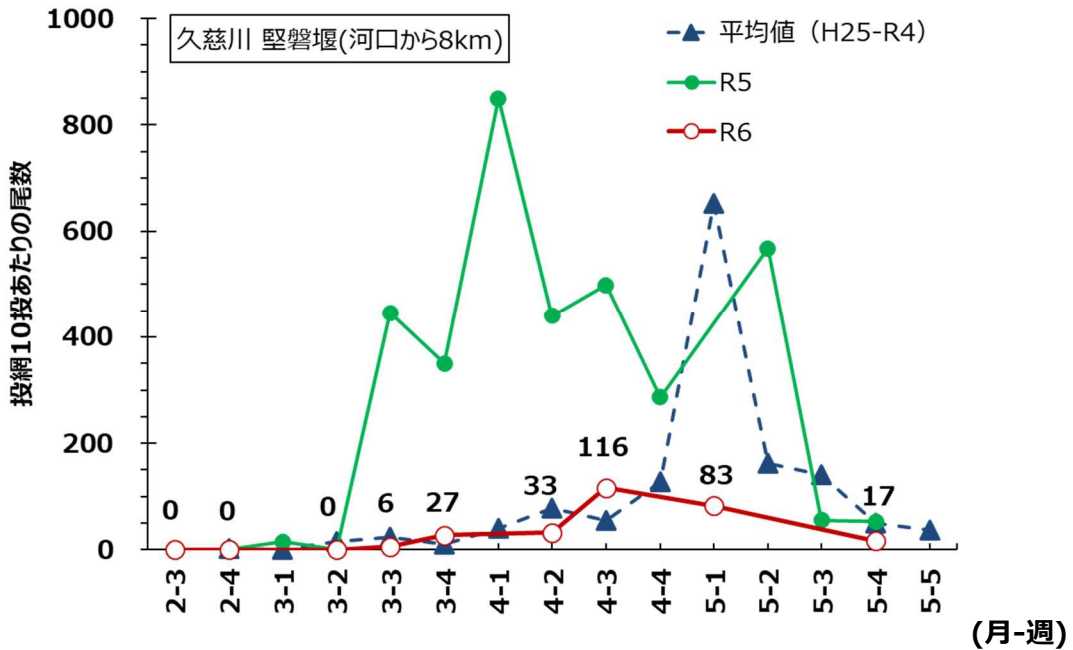


図 2 久慈川堅磐堰でのアユ遡上状況

那珂川： 令和 6 年は、4 月上旬から中旬までは、平成 17 年以降で最も多い採集尾数となり、5 月上旬以降は 10 年平均値 (平成 25 年～令和 4 年) と概ね同様の水準で推移しました (図 3)。このことから、全体として今年の遡上量は昨年を上回り、平年を上回ったものと考えられます。

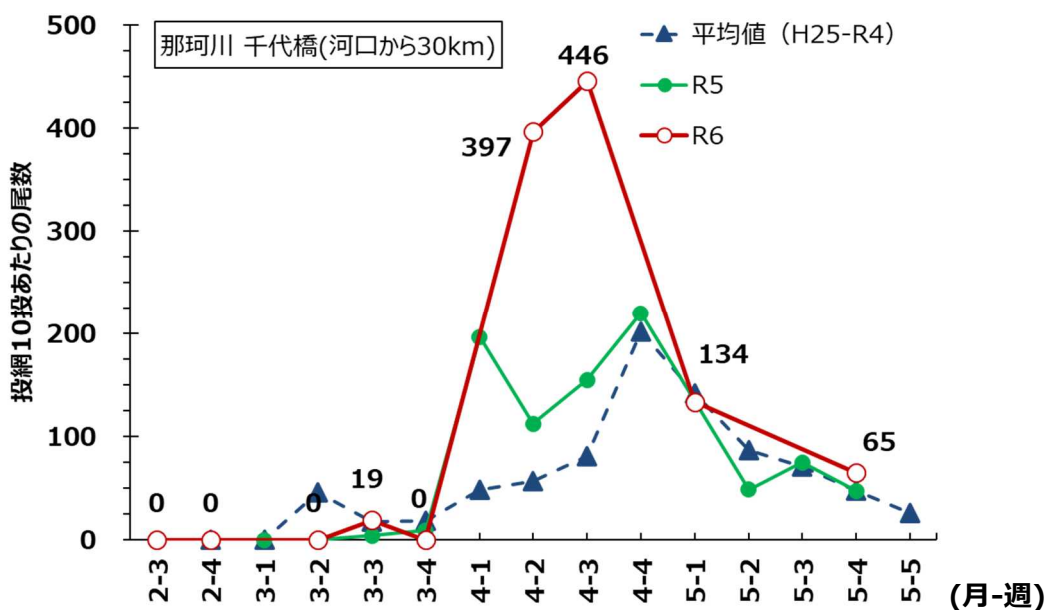


図 3 那珂川千代橋でのアユ遡上状況

## 2. 漁協の聞き取り結果

(1) 久慈川： 本年は、アユの遡上初確認日が例年より遅めでしたが、4月上旬には、栗原の堰で多くのアユの群れが遡上しているところの確認されるなど、順調に遡上しているものと考えております。

また、昨年新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行動制限が緩和されたことから、県内外問わず多くの釣り客の来訪と好釣果を期待しております。

(2) 那珂川： 今年の初遡上は、概ね例年並みの3月19日に確認されました。例年より早い4月上旬からアユの遡上が増え、4月下旬の遡上のピークまで、過去10年を上回る遡上量でした。このことから、期間を通して平均を大きく上回る遡上があったと考えられます。

シーズン中の釣れ具合は、天候や川の水量にも左右されますが、10年前から取り組んでいる産卵場造成等の効果が出て、今年も多くのアユがみられているので、いい釣果となることを期待します。



図4 今年度の直近の調査で採捕された遡上アユ

【参考】河川水温の推移

久慈川・那珂川の調査定点における水温は以下のとおりでした（図5）。

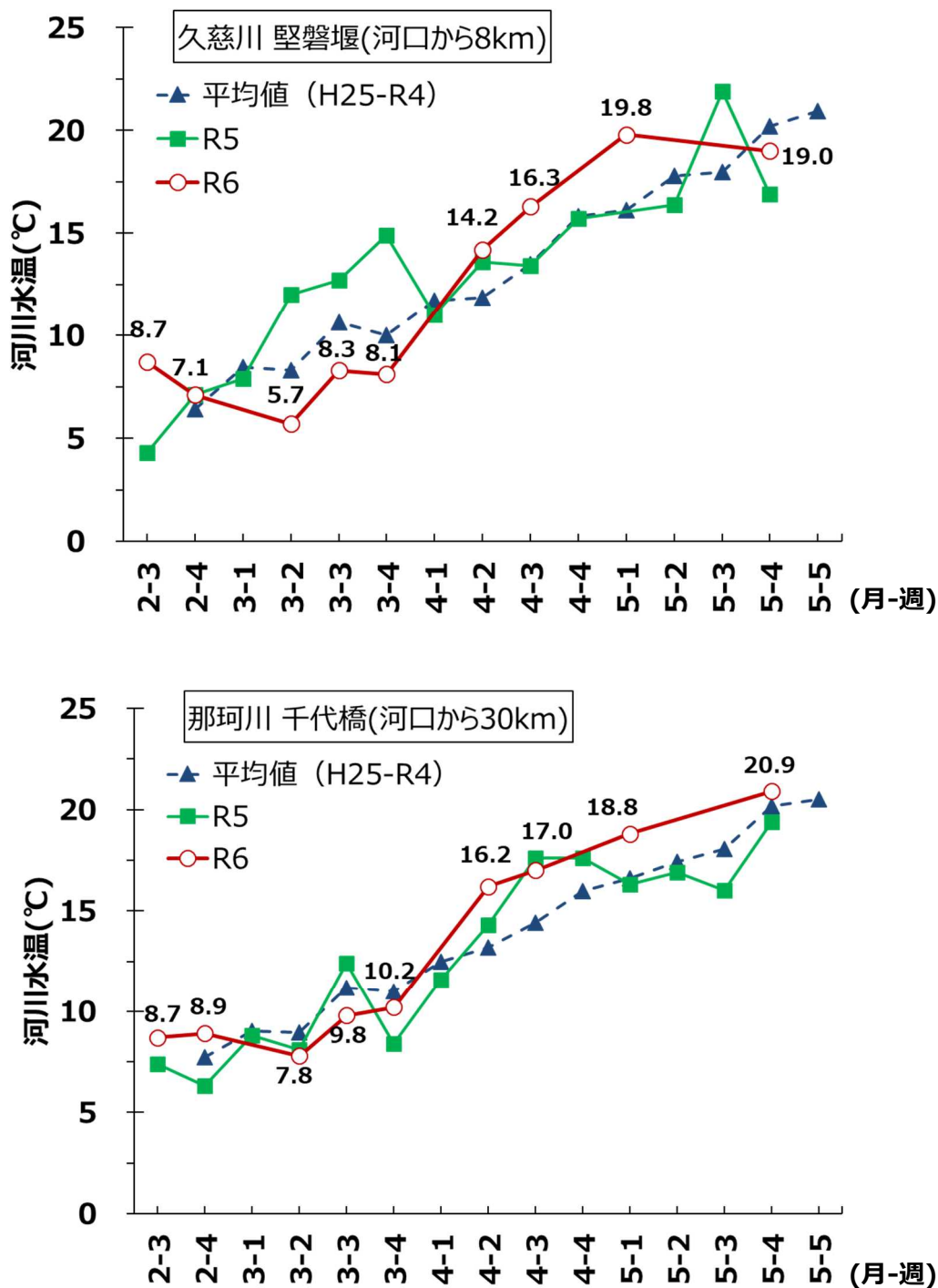


図5 調査定点における河川水温の推移  
 (上：久慈川堅磐堰、下：那珂川千代橋)